



演題：ヒト全能性幹細胞を用いた希少小児脳腫瘍の
発症機序解析

**Elucidating the pathogenic mechanisms of pediatric brain tumors using
human pluripotent stem cells**

演者・所属：船戸 洸佑 先生

(Kosuke Funato, PhD.)

ジョージア大学 分子医療研究所

Center for Molecular Medicine, University of Georgia, U.S.A.

日 時：令和 7 年 7 月 17 日（木）午後 4 時 30 分～午後 6 時 00 分

場 所：千葉県がんセンター旧事務研修棟 2 階大会議室

要 旨：

近年のがんゲノミクス研究の進展に伴い、小児脳腫瘍の新規遺伝子変異や分子マーカーが次々と発見され、旧来の病理学的手法では把握しきれていなかった、20 を超える遺伝的・分子的サブタイプが存在することが明らかとなった。しかしなぜ、小児脳腫瘍にはこれほど多数のサブタイプが存在するのだろうか？ それぞれのサブタイプの発症機序には未解明な部分が多く、かつ、各サブタイプに合わせた新しい治療法の開発も急務となっている。我々は、ヒト全能性幹細胞を用いて、小児脳腫瘍の発生を起源細胞まで遡ってモデル化することにより、発症機序の解明と新規治療法の開発を行っており、本セミナーではその一端を紹介したい。